

行政事業レビューシート (環境省)

事業名	小笠原諸島世界遺産センター整備事業費	担当部局庁	自然環境局	作成責任者			
事業開始・終了(予定) 年度	平成24年度	担当課室	自然環境計画課	課長 塚本 瑞天			
会計区分	一般会計	施策名	5-2 自然環境の保全・再生				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	本年6月に世界遺産に登録された小笠原諸島については、登録の際の決議において侵略的な外来種への対策の強化継続が求められており、最優先すべき対策の一つとして新たな外来種の持ち込みや外来種の拡散の防止が挙げられている。これらの対策を実施するために、小笠原諸島における侵略的な外来種の管理の拠点施設として小笠原諸島世界遺産センター(仮称)を設置し、我が国が国際社会に約束した将来にわたる小笠原諸島の世界遺産としての価値の保全を図る。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	上述の目的を果たすために、別途進める予定である新たな外来種の侵入防止にかかる包括的な検討を結果を踏まえた、特に新たな外来種の侵入や拡散の防止を中心とした小笠原諸島の生態系の保全管理を進めるために必要な拠点施設の整備を行う。この施設は、小笠原諸島の生態系の保全管理対策実施のために属島に渡航する際に調査機材などを冷凍処理するための設備や保全管理のための工事資材を小笠原諸島に持ち込む際に薫蒸処理するための設備をはじめ、島民が園芸資材や農業資材を持ち込む際に、新たな侵略性の高い外来種を無害化するための適切な設備や機能を持たせるものとする。						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	-	-	7	
		補正予算	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-		
		計	-	-	-	7	
	執行額		-	-	-		
	執行率(%)		-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	小笠原諸島世界遺産地域の保全管理の推進と世界遺産としての価値の維持を目的とした事業であるため、定量的な成果目標を示すことは困難。	成果実績		-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	小笠原諸島世界遺産センター(仮称)整備	活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-
				-	-	-	-
単位当たりコスト	-	算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	施設施工旅費	0	0.04	24年度新規事業			
	施設施工庁費	0	0.06				
	施設整備費	0	6.9				
	計	0	7				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・世界遺産登録地域を適切に保全管理することは締約国の義務である。 ・小笠原諸島の世界遺産としての価値は生物進化に関するものであるが、その価値を構成する陸産貝類は侵略的な外来種の影響を受けやすく、価値の保全のために細心の注意を払わなければならない。 ・このような対策を行わない場合には、世界遺産としての価値が損なわれ、ガラパゴス諸島のように危機遺産リストに掲載される恐れがある。 ・世界遺産登録地域は国立公園や国有林などの制度で国際社会に保護担保しており、国が中心となって、自治体との適切な役割分担の下に管理を進めることとなっている。 以上のことから、本事業は、広く国民のニーズがあり、優先度が高く、国が実施すべき事業であるといえる。		
予算監視・効率化チームの所見			
		世界遺産登録地域を適切に保全管理することは締約国の義務であり、要求をすることを認めるが、要求が認められた際は、効率的な執行に努めること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
-			